

## 2019 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 兵庫県立芦屋国際中等教育学校 ] 担当教諭名 [ 岡留 信博 ] ( 3年B組 40名 )  
 相手国・地域 [ スペイン ]  
 海外学校名 [ IES Belén ] 担当教諭名 [ Castro Caballero Rosa M ]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	探究	多文化共生	16

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	地球を救うための時間が残り少ない
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	地球は現在どんどん破壊されていて、それを救うための時間は残り少ない。今すぐ地球を救うためにできることをしよう。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒同士が協力して絵のアイデアを工夫していくことで、仲がかなり深まった。</li> <li>海外の生徒とコミュニケーションをとるなかで、相手に自分たちの思いを上手く伝えるにはどうしたらいいか考えられるようになっていった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>連絡を密にとることがなかなかできなかった。</li> <li>週1コマの授業では作業が思うように進まず、学習の質が落ちてしまったように思う。</li> </ul>

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
環境問題についてスペインでの対策を学んだ経験などを通して、新しい視点で環境問題について考えられるようになったことに加え、スペイン以外の国の環境問題への対策についてもよく知ろうとする態度が身についた。	スペインとのやり取りを通して、日本と比べかなり生徒たちが自由に工夫して学んでいると感じた。この自分たちで工夫して学ぶという点を大切にしていることが、大人になってからの自由な発想に繋がっていると思った。 海外に見習わなければならない部分も多くあると思うようになった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	6月	自己紹介カードを作り、相手校に発送した。	自分たちを知ってもらうため、様々な情報をカードに書こうとしていた。英語にするのは大変だったが、それも楽しんでいるようだった。	探究
共有 テーマ学習	7月 9月	夏休みに環境問題についてインターネットなどで調べたものを、班で共有し、それを相手校に伝えるため、ビデオメッセージを送った。	どうすれば文化や言語の違い相手に上手く伝えられるかをとてもよく工夫していた。	探究
融合 メッセージ作成	10月	絵の下書きを何度も行い、相手と「メッセージ」、「絵のデザイン」を決めた。	伝えたいメッセージが相手と全く同じで驚くと共に非常に嬉しそうであった。絵のデザインに関してもとてもよく工夫していた。	探究
創造 壁画制作	11月 12月	壁画制作を行うと同時に日本の伝統的な玩具の遊び方を動画で撮り、壁画と一緒に玩具と動画を相手校に送った。	全員で協力して行うことができたが、思ったより壁画が小さくて、一人当たりの塗る面積が狭いことに不満のある生徒も見られた。完成したときはみんな達成感を感じると共に感動していた。	探究
評価 振り返り 自己評価	2月 3月	自分自身で1年間の活動を振り返り、今後の活動にどう活かすか考えた。	環境問題について考えるきっかけになったり、スペインの文化について学ぶことができたりと、非常に満足した様子であった。	探究

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つけたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	日本の伝統的な玩具を送る上で自国についても調べたため。
異文化を理解する力	5	絵のデザインを協議する中で、自分たちの考えだけでなく、相手の意見を取り入れようと心がけていた生徒のようすから。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	3	インターネットに頼りすぎてしまったため。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	5	英語でのやり取りを頻繁に行ったことに加えて、英語だけでなく動画では体の動きなども使って必死で想いを伝えようとした経験から。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	2	客観的に物事を考える場面を作ることができなかつたため。
主体的に考え行動する力	4	こちらが言う前に次はこれがしたいと行動を起こす生徒がとても多くなっていたことから。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	5	それぞれが自分の与えられた役割だけをこなすのではなく、みんなで1つのものを作ろうとしていたことと、相手校の考えを尊重して壁画制作に取り掛かっていた場面を見ることができたため。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	メッセージを絵にしていく過程で、始めは戸惑いがあったが次第に「意味を込めるにはこうした方がいい」という声が聞こえてくるようになっていったため。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	2	作品の鑑賞はできたが、振り返りの時間があまり取れなかつたため。